

とちぎの生協

〒320-0024 栃木県宇都宮市栄町 1-15 栃木県開発センタービル 2階
TEL:028-624-6650 FAX:028-624-6652

http://tochigikenren-coop.com Eメール info@tochigikenren-coop.com

VOL.18・初夏号



ごあいさつ

栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内明子

6月28日、第47回通常総会を滞りなく終了することができました。また、県連参加の単位生協、団体も総代会を7月末に迎える1会員を除き、無事終了致しました。多くの皆様のご協力に対し、心から御礼申し上げます。

今、人と人とのつながりは希薄化しています。その上、平和という文字からほど遠い7名の方が殺害されたバングラディッシュでのテロ事件、沖縄で立て続けに起こる米軍が関わる事件、更にイギリスのEU離脱による経済の不透明化と私たちを取り巻く環境は目に見えて不安定さを増しています。他にも、拡大する格差の中で深刻化する貧困問題、被害者が後を絶たない消費者問題、加速する高齢化に伴うように2週間に1度の割合で

起きているという介護殺人、数え上げればきりがありません。こうした問題は社会的な課題であることはもちろんですが、人が起こす問題である以上、人と人とのつながりが築かれていれば、その一部なりとも防げることがあるのではないかと思います。

生活協同組合は共に助け合い、くらしを豊かにしていくことを目指しています。そして、この生協の使命をもっと地域の中で発揮していくことが大切であり、課題であると考えています。今年度も多くの皆様とご一緒に、住み良い地域づくりに力を尽くしてまいりたいと思っております。どうぞご指導ご鞭撻を頂けますことをお願い申し上げます。

第47回通常総会のご報告と、2016年度 栃木県生活協同組合連合会の活動方針

—6月28日(火)総会を開催し、第1号議案から第5号議案まで、議案はすべて承認されました—

◎1号議案	2015年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件及び監査報告	今 期 の 役 員 体 制	会長理事	竹内明子
◎2号議案	2016年度事業計画及び予算承認の件		副会長理事	金澤典功
◎3号議案	第5次中期計画のまとめと第6次中期計画設定の件		副会長理事	伊藤和夫
◎4号議案	役員選任の件		専務理事	中田和良
◎5号議案	役員(理事、監事)報酬枠承認の件		常務理事	林克則
			常務理事	和久井克孝
			常務理事	江波戸佳子

変化していく社会環境と経済環境の中、県連に求められる役割も変化しています。

今後も社会的な役割を発揮できるよう、第6次中期計画(2016年~2018年)に沿って活動をすすめます。

●会員の活動に対する支援と貢献

- ◇ 県内生協間のネットワークを推進します
- ◇ 学習会の強化…社会情勢に合った様々な問題点や、協同組合の基礎を学べるよう、役職員向けの定期学習会を継続します。また、平和の取り組みについても継続します

●社会的なネットワークづくり

- ◇ 食の安全ネットワークの活動推進
- ◇ 消費者ネットワークの活動推進
- ◇ 食と農をつなげる会の開催
- ◇ 適格消費者団体の母体となる「NPO 法人とちぎ消費者リンク」に加入します

●生協の社会的な役割発揮

- ◇ 被災者支援
- ◇ 行政・各団体との協働活動と、行政の審議会、懇談会への参加をすすめます
- ◇ 県議会、報道機関などとの懇談を実施します
- ◇ 協同組合の理念・原則を継承した取り組みを広げます



宇都宮市職員生活協同組合



市制120周年・市町合併10周年
UTSUNOMIYA CITY 2016

栃木県職員生活協同組合

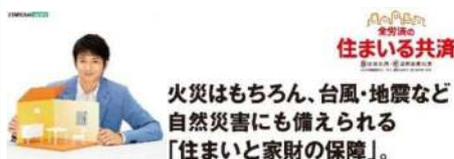
栃木県職員等を組合員とする
職域生協です。

- 県庁内で、売店・食堂・喫茶を営業しています。とちまるくんグッズや県産品、焼きたてパンなどの販売や地産地消メニューの提供をしています。
- 県庁以外では、地方庁舎(9ヶ所)、県立病院(2ヶ所)の売店運営や指定店による物品販売、保険の斡旋など、組合員の福利厚生のための各種事業を実施しています

栃木県学校生協

「2016年度の10の重要課題」

1. 学校生協係との良好な関係づくりを目指します。
2. 第18次中期経営計画をスタートさせます。
3. 組合員の満足度向上に取り組みます。
4. 社会貢献活動を拡充します。
5. 危機管理対策を強化します。
6. 内部統制システムを整備します。
7. 関連会社(教育サービス)組織整備を行います。
8. コスト削減の取り組みを強化します。
9. 学校生協強化月間の取り組みを強化します。
10. かんぽ生命とハウジング事業を広報強化します。



保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



全労済栃木県本部は、
創立60周年を迎えます。

全労済栃木県本部 お問い合わせ先
(栃木県労働者共済生活協同組合) 028-638-6031-09162012

プリチストン那須グループ生活協同組合 2016年度の取り組み

組合員の皆様に喜ばれる活動として、

- * 那須・栃木工場売店販売
- * 季節に合わせた商品での斡旋販売
- * 5月、10月にバーゲンの開催、スポーツ用品(ウエア等品数確保)、リビング用品等の販売
- * 各工場主催の祭りや行事への参加、協力

などの事業計画案が達成できるよう感謝される活動を積極的に取り組んでいきます。

健康をつくる、平和をつくる、いのち輝く社会をつくる

栃木保健医療生活協同組合



健康をつくる=笑いヨガ、レインボー健康体操で脳も体もリフレッシュ
平和をつくる=核兵器も戦争もない
平和な社会実現へ憲法を生かす
いのち輝く=みんなが主人公になれる居場所づくり。お茶のみサロン、無料塾、子ども食堂など。
健康とくらしの相談随時受付中!

☎028-652-3714

栃木県労働者消費生活協同組合

栃木県労働者消費生活協同組合は、
栃木県内の労働組合に加入している
組合員様の生協です



320-0052 宇都宮市中戸祭 821

宇都宮大学消費生活協同組合 2016年度の目標

1. 組合員参加を強め、毎日いつでも安心して利用できるお店・食堂をめざします。
2. 組合員の学びと成長を総合的にサポートしていきます。
3. 新学期事業を強め、新入生と保護者の不安や期待にこたえます。
4. 健全で安定した経営改革を実行し、単年度黒字を目指します。

足利工業大学生生活協同組合 2016年度の目標

1. 大学の変化に対応し、健全な経営で信頼される生協をめざします。
2. 組合員の利用回復に取り組み、元気で活力ある生協をめざします。
3. 勉学研究から日常生活まで学生生活のステージにそった活動を強化します。
4. ひとり一人の職員が多面的な力量と業務力量の向上をはかります。

栃木県生活協同組合連合会は、栃木県内の13生協と、5つの賛助団体による連合会です。

生活クラブ生活協同組合・栃木



Food=食
Energy=エネルギー
Care=福祉
の自給をめざして、これからも
共同購入を通じ
持続可能(サステイナブル)な
暮らし方を提案していきます。

とちぎコープ生活協同組合

2016 年度も、
組合員さんにとって
「いごちのよい生協」
となることを目指します



よつ葉生活協同組合



よつ葉生協は、
今を生きる私たちと
次代を担う子どもたちのため、(農薬、
食品添加物、遺伝子組み換え、放射性物
質など)心配される食の問題に対し、予
防原則を基本に、安心できる食材のお
届けを進めます。
地産地消を柱に、国内自給率向上を
図って行きましょう。



pal*system



パルシステム茨城

産直と環境にこだわり安全で安心な
食材をお届けする生協です。

本部
〒310-0022
茨城県水戸市梅香 2-1-39
Tel 029-227-2225

小山事務所
〒323-0029
小山市城北 3-24-10-101 号
Tel 0285-30-4501



2016 年度方針 (抜粋)

【群馬産直協議会の設立】
地域の産地と共に、地産地消を広め
ファンを増やします。

【人材作り】
職員の人事評価制度を運用開始し、
人材育成を進めます。

【組合員参加】
活動を活性化し、組合員の声を活
かした組織作りを目指します。

つながることで子どもたちの食と
くらしの明日をつくる

未来創造型



パルシステム群馬



ふれあいコープ

私達は多くの人々と協同して
一人一人が尊厳を持って安心して
暮らせる地域福祉を目指します

の理念のもと、住み慣れた地域で安心
して暮らして行けるお手伝いをさせて
頂くため、介護保険による 24 時間定
期巡回・随時対応型訪問介護看護や、
介護保険外の「おたがいさま」活動に
取り組み「コープ安心システム」の構
築を進めています。

事業内容

デイサービス/訪問介護/居宅介護支援/
小規模多機能型居宅介護/24 時間定期
巡回・随時対応型訪問介護看護/特別養
護老人ホーム/ショートステイ/困りごと
電話相談/助け合い活動「おたがいさま」

中央労働金庫

働く仲間がつくった
金融機関です

〈ろうきん〉は、生活協同組合や労働組
合などの仲間がお互いを助け合うため
につくった協同組織の金融機関です。
仲間の暮らしを支え、快適な社会づく
りに寄与することをめざしています。



お問い合わせは
〈中央ろうきん〉栃木県本部
Tel.028-622-4296

あなたらしく働くことで、
くらしが、地域が豊かになる。
こらぼワークは新しい労働のカタチ
「協同労働」のチームです。



こらぼワーク

仲間と一緒に、仕事をつくる

企業組合とちぎ労働福祉事業団

解散のご挨拶

足尾銅山生活協同組合三養会(さん
ようかい)は、明治 41 年 1 月に「足
尾銅山購買組合本山三養会」として発
足。その後、産業組合法(昭和 25 年 9
月)施行により、現在の組織形態となり
ました。

日本初の生協として、足尾町にて
100 年以上に亘り活動してまいりまし
たが、経営環境の変化等により、平成
28 年 10 月末日をもって、解散する運
びとなりました。

今まで支えて下さった多くの組合員
様を始め、地域の方々、皆々様に深く深
く感謝の意を表しますとともに、今後
のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、御
礼の言葉に代えさせていただきます。

足尾銅山生活協同組合三養会

2016 年度も、豊かな地域づくりをめざし、協同の力で取り組んでまいります。

とちぎ消費者ネットワークの活動

構成メンバー：学識者、弁護士、司法書士会、自治会、消費者団体、NPO 団体、金融機関、生産者団体、栃木県生協連

- 例年行っている栃木県消費者行政推進室との意見交換会を5月31日に実施し、県から消費者行政の取り組みについてご報告を受け、意見交換を行いました。
- 県からの委託を受け「消費者カレッジ」を開催します。4年目の取り組みとなります。若者の消費者意識を高め、被害の防止や対処につなげる目的で行っています。



2016年度、とちぎ消費者カレッジ開催予定校

・自治医科大学 ・宇都宮大学 ・國學院大學栃木短期大学 ・作新学院大学
・作新学院大学女子短期大学部 ・佐野短期大学 ・栃木県農業大学校 ・宇都宮共和大学

- ネットワーク参加団体を対象に「消費者トラブルアンケート」を実施しました。

消費者トラブルアンケート回答 (内容抜粋)

Q.あなたやご家族がここ3年くらいに、購入した商品やサービスに不満、不具合・故障、ケガ、体調を壊した、悪質商法による契約被害等の経験をしたことがありますか。または、遭いそうになったことはありますか？

被害に遭った 126名(5.5%)
被害に遭いそうになった 97名(4.2%)
被害に遭っていない 2,063名(90.2%)

回答者 2,334名
(男性 32% 女性 68% ・ 10代~70代以上)

消費生活センターを知っていますか？
知っている…58%
知らない…42%

遭った、または遭いそうになったのは
本人 133名(62.4%) 家族 80名(37.6%)
うち、男性 36名(35.3%) 女性 66名(64.7%)

平均被害額・・・329,286円
<高額被害では、1,200,000円、500,000円という記入もありました>

上記の年代、多い順
①70歳以上 34%
②50歳代 20%
③60歳代 15%

消費者被害の内容、多い順
①訪問販売(42%) ②通信販売(17%)
③電話勧誘(15%) ④インターネット関連(11%…増加傾向)
以下、マルチ、金融(増加傾向)、訪問購入等

消費者ホットラインを知っていますか
知らない…88%
知っている…12%

とちぎ食の安全ネットワークの活動

構成メンバー：学識者、行政、消費者団体、事業者、勤労者団体、栃木県生協連

- 学習会の開催や、県と共催するセミナー、フォーラムなどを通し、食の安全に取り組んでいます。

栃木県と共催

7月14日(木) <食品安全セミナー>

演題：食品表示について
講師：日本生協連 品質保証本部長 鬼武 一夫 氏
会場：佐野市城北地区公民館ホール

10月13日(木) <栃木食品安全フォーラム>

テーマ：「HACCPでとちぎの食の安全確保を」
基調講演：「HACCPに係る報告」
①食品製造事業者の報告
②食品販売事業者の報告
③栃木県の報告
意見交換、質疑応答 (県・宇都宮市協働)

食の安全ネットワーク全体会での学習会

5月12日(木) <TPPについての学習会> 参加者 60名

演題：TPPで私たちの暮らしはどうか？
—農業・食の安心・安全・医療を中心に—
講師：NPO 法人アジア太平洋資料センター(PARC)事務局長 内田 聖子 氏
> 昨年10月に「大筋合意」をした後、11月に5000頁にもものぼるTPP暫定協定文が公開されました(日本政府による協定文の仮訳は一部のみ)。PARCでは英文の条文を分析。その内容をもとに、私たちの暮らしにどのような影響があるのかをお話いただきました。



11月10日(木) TPP下での食の安全性について、宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏を講師に開催する予定です。

熊本地震緊急募金	金融機関名	中央労働金庫 宇都宮支店
	口座番号	普通 314413
口座開設	名義	(トチギケンセイキョウカイ カクアヒリノ) カイ ケンゴウ ツツキユウキョウチ 栃木県生活協同組合連合会 熊本地震緊急募金口
のお知らせ	備考	(ダク化ヨウリノ) ヌウケンチノ 代表理事 竹内明子 振込手数料は無料、募金期間は、9月30日までの予定です。

熊本地震緊急募金は
17,587,601円に
なりました(6/24現在)
被災地の生協連を通じて、被災された方々への
支援活動に活かします。